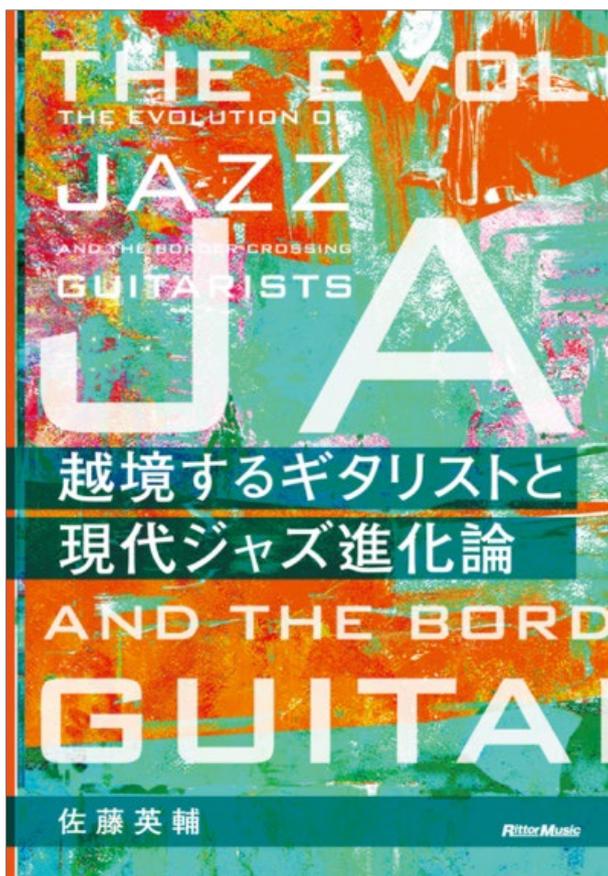


各 位

2024年9月20日  
株式会社リットーミュージック

ジャズの大家はギタリストをどのように起用してきたのか、  
ギターはどのようにジャズを現代化させてきたのか、  
その過程を克明に描く『越境するギタリストと現代ジャズ進化論』発売



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『越境するギタリストと現代ジャズ進化論』を、2024年9月20日に発売しました。





ギターという楽器を物差しとし、モダン／コンテンポラリー・ジャズの見直しを図りながら、ジャズと R&B やロックといったポップ・ミュージックが横一線に並ぶ様を描くことを試みたい。なお、論考は筆者の長年にわたるインタビューやライブ見聞を有効に活用する。

## ■書誌情報

書名：越境するギタリストと現代ジャズ進化論

著者：佐藤英輔

定価：2,970 円（本体 2,700 円＋税 10%）

発売：2024 年 9 月 20 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3124351002/>

## CONTENTS

- 第 1 章 ギターはモダンジャズにおいて傍系の楽器であった
- 第 2 章 ギターを物差しとする、米国黒人音楽の流れ～ジャズとギターの曲りくねった関係
- 第 3 章 マイルス・デイヴィス～すべてはやはりこの男から始まった
- 第 4 章 オーネット・コールマン～ドウシテコウナッタの権化
- 第 5 章 ジミ・ヘンドリックス～枠を超え創造するというアイコン
- 第 6 章 懲りない、爆裂ギタリストたち
- 第 7 章 カサンドラ・ウィルソンをはじめとする、ギターを介するボーダーレス表現
- 第 8 章 ギターが不可欠となる、オルガン・ジャズの不思議
- 第 9 章 ブルースやソウルと横つながりの、ジャズ・ギター
- 第 10 章 ギターにフレンドリーな、ジャズ界中央にいた変わり者
- 第 11 章 日本人大御所も、ギターに近かった
- 第 12 章 ギタリストを分け隔てなく起用する、ECM という不可解な回路
- 第 13 章 現ジャズ界の、人気／重要ギタリストたち
- 第 14 章 お茶目な狂気。ロックとジャズの境界上にいる個性派
- 第 15 章 レディオヘッドという黒船～なぜ今のジャズの担い手は惹かれるのか？
- 第 16 章 拡張する今のジャズとギター表現

この本はジャズにおける越境の平行な歴史をたどる。電氣化されたギターがジャズの核心にケイオス理論をもたらす！（アート・リンゼイ）

## PROFILE

佐藤英輔（さとう・えいすけ）

1958年福島県生まれ。86年、フリーの音楽評論家に。ロック、R&B、ワールドミュージックやジャズなど幅広く執筆。スティングやオーネット・コールマンほか、多くの音楽家にインタビューしてきた。ギター・マガジン、ベース・マガジンにも多数寄稿。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やTシャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当

E-mail: [pr@rittor-music.co.jp](mailto:pr@rittor-music.co.jp)